

日本最古!西塩子の回り舞台組み立てボランティア

ボランティア

[代表者] 人文学部人文学科 3 年 高木 光太

[連携先]

常陸大宮市西塩子地区市民の方々

[参加者]

庄司 潤一郎 (人文学部・5 年)
 土屋 奈津子 (人文学部・5 年)
 古谷 友美 (人文学部・4 年)
 梅原 香那 (人文学部・4 年)
 藤田 嵩之 (人文学部・4 年)
 関 友美子 (人文学部・4 年)
 新井 悠花 (人文学部・4 年)
 荒瀬 弘典 (人文学部・4 年)
 徳田 憲司 (人文学部・4 年)
 門馬 健 (人文学部・4 年)
 高木 光太 (人文学部・3 年)
 有賀 早苗 (人文学部・3 年)
 綿引 将 (人文学部・3 年)
 高木 香奈 (人文学部・3 年)
 柴田 沙弥香 (人文学部・3 年)
 菊川 綾子 (人文学部・3 年)
 松尾 静華 (人文学部・3 年)
 千野 梢恵 (人文学部・3 年)
 金子 千秋 (人文科学研究科・M2)
 平本 善昭 (人文科学研究科・M1)

[プロジェクトの成果]

今回私たちがボランティアとして参加した西塩子の回り舞台は、江戸時代以来続く由緒があり、茨城県の重要有形民俗文化財にも指定されている。しかし現在では過疎化による人手不足などのため、その組み立て作業や舞台公演に多くの困難を抱えている。私たちは常陸大宮市歴史民俗資料館との調査・研究面での連携の過程で、回り舞台についてのお話をうかがい、今回協力さ

せていただくこととなった。昨年 7 月 18 日には常陸大宮市歴史民俗資料館へと赴き、そこで資料館の学芸員である石田聖子先生より回り舞台についての詳細な講義を受けた。その後 9 月の半ばから実際に組み立て作業が始められ、私たちも大学の夏季休業期間を利用して作業へと加わった。夏季休業が終わった後も 10 月 28、29 日の公演に向けて、主に土日を利用して積極的に作業へと参加した。

また作業に参加するかたわら、民俗文化財伝承の貴重な体験として、私たち独自の「参加記」を書きとめ、さらに作業工程を追って舞台の様子を写真に収めた。これらに加えて、石田先生より寄稿していただいた原稿などをもとに、本書とは別に報告書を作成している。

舞台公演は公演直前まで幾つかの問題が発生したものの、無事にそれらを切り抜け、また公演当日の好天にも恵まれ、成功の内に終えた。公演に際しては私たちも現場の係員として参加し、また回り舞台保存会の方々のご好意により舞台上での紹介にも預かった。

さらに周辺事業として常陸大宮市・茨城大学人文学部地域連携シンポジウムにプロジェクト代表の高木や本プロジェクトにご協力いただいた当専攻の高橋修先生が参加したり、プロジェクト参加者数名が茨城県の NHK 圏域デジタル放送「熱風スタジアム」に出演したりするなど、幅広い分野で回り舞台の文化と地域連携をアピールすることに成功した。